

開倫塾で身に付けてもらいたいことは
「自己学習能力」と「礼儀作法(躰)」

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾で「塾生」の皆様にしてもらいたいことは何ですか。

A：(林。以下省略) 開倫塾で「塾生(開倫塾は「塾」ですから、「児童」「生徒」と呼ばずに「塾生」と呼びます。)」の皆様にして頂きたいことは、「学校の成績アップ」と「希望校に合格できるだけの偏差値アップ」のための勉強、この二つです。

学校の勉強に熱心に取り組み成績アップを果たすことは、どのような状況の下でも生き抜くための最低限度の能力を強化すること(能力強化)に直結します。母国語だけでなく外国語を含む読み書きや、計算能力、論理的・科学的に考える能力は、「知識社会」においては必要不可欠です。

なぜ「受験勉強」で全体の中の自分の位置を示す「偏差値」をアップさせることが大切かと言えば、「偏差値」が上がれば、進学できる学校が増える、つまり人生における選択肢が増えるからです。

「一所懸命」、つまり一つの所で命を懸けるくらいの熱心さで、「能力強化」のために「学校の成績アップ」の勉強と「希望校合格」のために「偏差値アップ」の勉強に励んで頂きたく希望します。

Q：よく分かりました。このほかに、開倫塾の塾生である間に身に付けてもらいたいことは何ですか。

A：「自己学習能力」と「礼儀作法(躰)」の二つです。

同じ学校や塾をはじめとする色々な教育機関で同じ時間勉強していても、成績が良い人と良い成績が取れない人がいます。「効果の上がる勉強方法」が身に付いている人の大概は、どこで勉強しても成績が良いようです。どのようにすれば効果の上がる勉強ができるのか、一生涯使用可能な「効果の上がる勉強方法」を開倫塾の塾生である間に身に付けて下さい。

たとえ学校や開倫塾で学ぶ時でも、勉強は自分自身でするものです。そこで、開倫塾では、「効果の上がる勉強方法」として「自己学習能力」、つまり「自分で勉強する能力」を塾生である間に身に付けて頂こうと様々なプログラムを組んでいます。

例えば、毎月発行している「開倫塾ニュース」や毎週土曜日放送のラジオ栃木放送「開倫塾の時間」は、「効果の上がる勉強方法」、つまり「自己学習能力の育成」を目指したもので、どちらも今年で十七年目に入りました。開倫塾の先生方も毎日のように、どうすれば効果の上がる勉強ができるか教えてくださっています。(開倫塾では、教えてくださる方を「教師」とは呼ばず、尊敬を込めて「先生」と呼びます。)

Q：具体的にはどんなことですか。

A：授業中、先生の話をお聴く時には、机の上に両手を置き、先生の目を見て(先生とアイ・コンタクトをとり)、精神を集中してお聴きすること。たくさんありますので、少しずつお伝えします。各教科の学年ごとの勉強方法のポイントは、「開倫塾ニュース」を活用して下さい。

Q：「礼儀作法(躰^{しつけ})」とは何ですか。

A：「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」と「敬語表現を含む言葉づかい」の二つです。いくら勉強ができてこの二つが身に付いていなければ、「立派」な人間とは言えません。どうかこの二つを身に付けることができるよう、意識的に努力を傾けて下さい。

開倫塾では「開倫塾^の躰(しつけ)」としてプログラムを組んでいますので、十分活用して下さい。ちなみに、三月は「みんなの靴(くつ)も手でそろえよう」です。「靴を手でそろえること」は、美しい立居振舞い(たちいふるまい)の第一歩です。自分の靴だけではなく、散らかっていると気づいたらみんなの靴も手でそろえることを、一生の「習慣」として身に付けるよう心がけて下さい。

「敬語表現を含む言葉づかい」を身に付ける上で最も役に立つことの一つに、十月の課題である「新聞や本を読もう」があります。十月まで待つ必要はありません。今日からでも本や新聞を毎日一時間くらい読むことをお勧めします。

Q：最後に一言どうぞ。

A：私は、自分の夢に向かって「勉強をし続ける人」が「教育のある人」と確信します。「勉強をし続けること」は素晴らしく尊いことです。そのためにも自分なりの勉強方法、「自己学習能力」を身に付けることをお勧めします。頑張ってください。